主催｜北海道大学 ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

障害者週間（12月3日～12月9日）　講演会

あなたと「知らない世界」をつなぐ

～筋電義手ユーザーの新聞記者が挑む橋渡し～

Connecting You to an 'Unknown World'



自作した
3Dプリント筋電義手と
ドイツ製筋電義手も
会場にお持ち
いただきます。



講師

岩堀 滋 記者

朝日新聞社 さいたま総局

講演内容

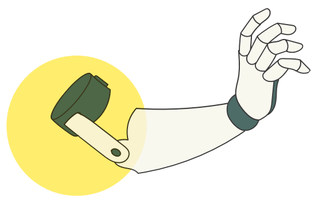
01



新聞社へ就職

文章に関わる仕事への希望から新聞社へ就職、カメラもパソコンもこなす記者生活へ

02



筋電義手との出会い

筋電義手の技術革新に目覚めるが、立ちはだかる制度の壁

03



義肢装具で変わる暮らし

義肢装具が変えるかもしれない多くの人の日常
（介護、農業など）

04



知らない世界を伝える

障害者の就職活動、日常生活、「知らない世界」を知ってもらうには

2026 12.1 火 12:00–13:00

北海道大学 百年記念会館 大会議室
（札幌市北区北9条西6丁目）

本学教職員・学生（学部生／大学院生）、
ご関心のある方どなたでも

参加申込

https://forms.gle/9L6muLcHeMiToSEL7

申込締切
11月27日（金）

講師略歴

1968年東京都生まれ。93年朝日新聞社へ営業職で入社、97年に記者職に転身。東京本社勤務だった2014年に筋電義手の存在を知り、15年に朝日新聞別刷り「GLOBE」の企画で筋電義手作成に挑戦。翌16年に兵庫県の病院へ6週間入院し、ドイツ製筋電義手を習得した。訓練用筋電義手の貸与を受け、現在に至る。制度的な問題と高額な費用のため、自分自身の筋電義手は入手できていない。趣味は装飾用義手を使った楽器演奏、音楽鑑賞、ドライブ。



お問合せ　office@dei.hokudai.ac.jp